

第11回 道路行政マネジメントを实践する栃木県会議 議事要旨

開催日時：平成24年8月8日(水) 14:00~16:00

開催場所：宇都宮国道事務所2階会議室

出席者：宇都宮大学大学院教授	森本 章倫(委員長)
公益社団法人 栃木県観光物産協会会長	新井 俊一(代理出席)
栃木県地区交通安全協会女性部連合会会長	五十嵐 清江
栃木県教育委員会委員	岡田 豊子
一般社団法人 栃木県商工会議所連合会会長	北村 光弘
下野新聞社宇都宮総局局長・論説委員	篠田 裕次
(社) 栃木県トラック協会会長	関谷 忠泉
栃木県NPO協会会長	高野 幸夫
(社) 栃木県バス協会会長	手塚 基文(代理出席)
NPO法人 eーとちぎ代表理事	藤平 昌寿
栃木県警察本部 交通規制課長	石川 二三男(代理出席)
東日本高速道路(株) 関東支社宇都宮管理事務所長	狩野 雄一
栃木県県土整備部 交通政策課長	福田 晴康(代理出席)
道路整備課長	見目 正明(代理出席)
道路保全課長	横嶋 利光(代理出席)
都市計画課長	根岸 昭夫(代理出席)
都市整備課長	岡田 考一(代理出席)
国土交通省 関東運輸局 栃木運輸支局長	山崎 正
国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所長	小路 泰広

議事

- (1) 主要渋滞箇所の考え方と候補
- (2) パブリックコメントの実施方法(案)
- (3) 事故ゼロプランの取り組み状況について
- (4) 道路行政をめぐる最近の状況報告
- (5) その他

議事要旨

- (1) 主要渋滞箇所の考え方について
 - ・植栽帯の草が伸びていると右折時や車道に出る際に見通しが悪いため、滞留し渋滞することもある。渋滞箇所でそのような要因がないか確認する必要がある。

- ・渋滞ポイントについて、それぞれの道路には、物流関係や観光面または日常生活が主であったり、道路の役割・特性があるのではないかと、今後対策を考える上で要因について確認する必要がある。
- ・観光地の道路は、平日はガラガラだけど土日だけ激しく渋滞して、それが本県の魅力を低下しないよう、十分勘察しながら、渋滞整備や道路整備を進めていただきたい。

(2) 主要渋滞箇所の候補について

- ・主要渋滞箇所の候補については、了承された。

(3) パブリックコメントについて

- ・パブリックコメントでの渋滞箇所の選定基準や、新たに意見が上った箇所を追加する際の基準は、今後検討していく。
- ・高速道路では渋滞を長距離トリップの面でみることが多いので、地域の渋滞感について、アンケートを取っていただくというのは一つの指標になる。
- ・アンケート実施により、地域ニーズが集められる。

(4) その他

- ・県の観光は、震災後厳しい状況にあり、観光物産の振興に取り組んでいるところだが、北関東道が全通し観光客の来訪に期待している。今後も観光客がリピーターとして来ていただけるような道路網などネットワーク整備に期待したい。
- ・渋滞対策と危険箇所が分かれているが、渋滞対策されたところが、逆に危険箇所にならないよう、しっかり対策検討してもらいたい。
- ・北関東道と東北道が繋がったことでスムーズになったが、これまで渋滞していた箇所が別の場所に移ることもある。
- ・観光時期や日常時の違いにより、混雑状況が変わってくるので、観光と日常生活を考慮した取り組みを進めてもらいたい。
- ・道路行政の取り組みの難しさを感じた一方で、行政同士の横の繋がりがもっと必要だと感じた。
- ・道路に関する県民の関心は高いが、メディアから伝えきれていないので、国交省ももう一段情報発信を高めてもらいたい。その一例でいえば自転車に関しては、県民の関心が高いので、より情報を発信してもらいたい。
- ・植栽の繁茂により歩道がほとんど使えない状況もあり、除草する実施する時期が間違っていると思う。特に県北など見ると道路整備が遅れている印象がある。
- ・道路沿いに舗装がされていない箇所も多くあるので、沿道出入りの際に、雑草により見通しが悪くて事故が起きている場合も多いと思う。
- ・行政はこれまでPD、PDの連続であったが、国交省のPDCAサイクルの流れは、有効な税金の使い方であり、評価したい。

- ・道路・交通の弱者、こども、高齢者、今後は障がい者に着目してもらいたい。特に市街地のバリアフリー化に期待したい。
- ・バッテリーで動く電動車いすが増加してきたので、車との出会い頭事故が心配される。
- ・交通事業者にとっては渋滞解消が喫緊の課題でありこれからもアンケート等積極的に協力していきたい。
- ・北関東道が全通して、高崎～宇都宮のバス乗客数は増えていないが、宇都宮～水戸は増加している。今後も都市間移動が活発になる整備を期待している。
- ・線形改良などが行われると走りやすくなるが、その反面渋滞も発生するようになる。道路行政として、このようなジレンマを無くすことが課題と考える。
- ・震災時、情報がライフラインであり、情報網が寸断される状況も想定しておかなくてはならない。情報サーバーの分散や他の自治体の協定を結ぶなど、今後取り組んでももらいたい。

(5) スケジュールについて

- ・次回会議は9月以降に、パブリックコメントを踏まえた最終的な渋滞箇所について意見を伺う予定。

以上